

令和3年度

# 幼稚園だより 2月号



文京区立千駄木幼稚園

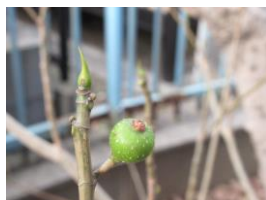
## 節分を迎え、もうすぐ春がやってきます

副園長 西郡 千晴

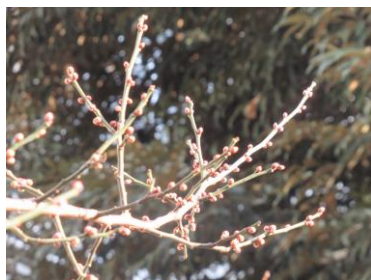
幼児向けのなぞなぞです。(3歳児向け)「いつもは食べている豆を、鬼に投げてもいいのは何の日でしょうか?」。(4, 5歳児向け)「鬼が逃げる日です。この日から季節が春に変わります。何の日でしょうか?」答えは、「おには一そと、ふくは一うち」と大きな声を出しながら鬼を退治する日、節分です。節分は立春の前の日のことです。炒った大豆をまいて、歳の数だけ豆を食べると一年間病気をしないとされています。例年は学級の友達と一緒に豆まきを行い、その後に豆を食べていましたが、今年は豆を持ち帰って各ご家庭でまいたり食べたりしていただくことといたしました。どうぞご家庭で豆を食べる時には、節分の意味について話題にして日本に古くから続いている風習を体験していただきたいと思います。

幼稚園で節分を子どもたちに伝える際には、よく次のように話します。「みんなが健康で幸せに過ごせますように。という意味を込めて悪いものを追い出す日です。鬼は外、福は内、と言いながら豆まきをします。鬼はどこにでもいて、子どもたちの体の中に入ってくることもあるそうで、泣き虫鬼、おこりんぼう鬼、ヤダヤダ鬼など、みんなの中にもいるかもしれない鬼もまとめて追い払ってしましましょう。」このように話すと、子どもたちは自分なりにどんな鬼がおなかの中にもいるか考えて答えてくれます。子ども自身自分の弱いところは案外分かっているもので、自分の弱い部分を見つめ直す機会になります。本来ならば戸外で大きな声を出して豆をまいて鬼を退治するところですが、マスク越しでも、気持ちはしっかりと鬼退治をして感染症に打ち勝つ強い心と体を作っていきます。

感染症対策をして過ごす期間が長期になり、コロナ疲れという名前の心の病も増えていると聞きます。ご家族の皆さんで「コロナの心配がなくなったら、どんな楽しいことをしようか」と楽しみを作ってみてください。



イヌビワ



ウメ



ニホンスイセン

草花や鳥たちは敏感に春が近づいていることを感じているようです。少しでも日の当たる方へと枝を伸ばしながら、新芽や蕾に力を蓄えている様子に生命のたくましさを感じられます。感染症など不安な日々は続いています。自然のたくましさを見習って元気に過ごしていきましょう。